予告

奈良県下

●奈良県（1月28日）

▽第一浄化センター1系区画整理（公共下水道）事業（広陵町百野地内）
2億4222万3千
丸島アクアシステム
㈱2億6328万6千
㈱2億6328万6千
㈱2億4222万3千

▽宇陀川浄化センター電気設備更新工事（防災・安全交付金事業）（宇陀市榛原福地地内）
2億5100万
東芝インフラシステムズ
㈱2億5321万3千
㈱2億5321万3千
㈱2億3295万5千
（1月29日）

▽北城宮跡周辺地域における街路渋滞対策検討業務委託（奈良市西大寺南町～東向中町地内）
2166万
全日本コンサルタント
㈱2700万　㈱2700万　㈱2166万

兵庫県下

★兵庫県阪神南県民センター
【2月13日開札】
▽武庫川水系武庫川底質調査業務
【2月17日開札】
▽武庫川水系武庫川民間井戸地下水調査・解析業務

取りやめ

★国土交通省和歌山河川国道
【3月10日開札】
▽国道42号下津地区歩道整備工事
▽国道42号由良・湯浅地区歩道整備工事
（1月29日）

★国土交通省滋賀国道
【3月10日開札】
▽野洲栗東バイパス宅屋地区排水設備工事

建設技能人材機構
賛助会員13社が入会
清和建設（大阪市）など

建設技能人材機構（丁AC才賀清一郎理事長）は2月4日、建設企業13社の賛助会員としての入会を承認した。入会は特定技能外国人の受け入れ計画認定の要件の一つ。今回の入会で、賛助会員は合計111社となった。次回の入会承認は3月上旬を予定している。

4日に入会を承認した13社は次の通り。

▽SSB（福岡県直方市）▽大翔工業（神奈川県藤沢市）▽亜田建設（山口県天神市）▽ユクタケ（福岡県筑紫野市）▽岩藤工務店（岡山県赤磐市）▽イエヌ・エス・テック（岐阜県多治見市）▽岩井組（大阪府池田市）▽アラキチ工務店（横浜市）▽清和エクステック（北海道旭川市）▽清和建設（大阪市）▽新建工業（東京都三鷹市）▽山芳園（横浜市）

受講生に無料で願書を配布
CIC／1級建築・電気施工管理技士試験で

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、1月末にスタートした1級建築・1級電気施工管理技士受験申し込みの受付に合わせ、受講生に無料で願書を配布している。自宅や移動先などで学習を継続できる映像通信講座も開始しており、すぐにでも学習に専念できるという。

施工管理技士は、建設工事の現場に置く主任技術者や監理技術者の有資格者として認められるなど、施工管理には不可欠な資格。施工技術の高度化・多様化に伴い、需要がますます高まっている。資格取得には、学科試験、実地試験に合格する必要があり、ストレート合格率は30～50％と難関。同社独自の学習プログラムは、過去問分析に基づき、無駄を徹底的に省き、業務多忙で受験対策に時間的制約がある受験生の短期合格を可能とする。

問い合わせ先はフリーダイヤル（0120）9[illegible]

受験票（イメージ）

関越自動車道東松山工事で採用
技研製作所と日本製鉄のジャイロプレス工法

技研製作所（高知市）と日本製鉄が共同開発したジャイロプレス工法が、東日本高速道路会社発注の「関越自動車道東松山工事」（施工者は戸田建設）で採用された。越辺川橋の上下線拡幅のため、井筒基礎を施工している＝写真。

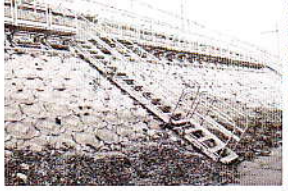
同工法は、先端ビット付き鋼管杭を回転圧[illegible]入することで、硬質地盤や地中障害物を切削貫通する。工事は、高坂SA付近の渋滞緩和のために付加車線を設置する。地[illegible]は硬質砂礫層[illegible]

[illegible]桁から鋼管杭[illegible]も低い場所で約4メートルという厳しい条件下において、つり込み装置付き低空頭タイプのジャイロパイラーで施工している。

技研製作所の担当者は「圧入工事のスペシャリストとして高い提案力、技術力、管理力を持つGTOSSメンバーシップ認証企業と協働して普及拡大を図りたい」と話った。

自立・吊り型の新型足場を展開
日工セックの斜面ノリダー

日工セック（本社・千葉県野田市）は、斜面・法面工事用の仮設設備「斜面ノリダー（ラク2ステージ）」を開発し、全国で採用実績を伸ばしている。構成部材が一体となったアルミ製の傾斜自在ステージで、ユニット化された製品により前後のつかみ金具をパイプに設置後、左右の角度調整ハンドルの解除・締付作業のみで設営が完了。ステージの均一化が図れ安全性が向上する他、作業工数が軽減することで工程の短縮を実現する。


▲斜面ノリダー（鉄道貨物線　法面堤補強工事にて）

近年、大幅なモデルチェンジを図った。サイズは750㎜、1000㎜、そして単体使用と種類を増やし、現場のシーンに応じて使い分けができ、より一層活用の効果が期待されている。許容荷重は200㎏。

法面の斜面に沿って歩廊を設営できる他、斜面の安全区域や災害時の応急避難路の確保が可能となる。新技術情報提供システムNETISの登録技術。

問い合わせ先は同社西部営業所（堺市中区）電話072（281）5950。

「ぴたあっと」の販売を強化
スカイシステムのGPS車両運行システム

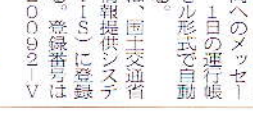
スカイシステム（東京都中央区）は、近畿地方を中心にGPS車両運行システム「ぴたあっと」の販売を強化する。

ぴたあっとは、車両にスマートフォンを載せるだけで、運行をスムーズに管理。スマートフォンに表示された地図で車両の現在位置（行先路、安全運転の状況を把握する。運行と連携して動画を自動生成するドライブレコーダー機能を搭載し、加速度超過やトラブル時などの動画保存が可能になった。

また、急加速や急ブレーキといった加速度警告の一覧などを地図上に表示。各車両へのメッセージ送信や、1日の運行帳票をエクセル形式で自動作成できる。

同製品は、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録されている。登録番号はKT－120092－V。

問い合わせ先は電話03（5847）3651。


ぴたあっとの車両表示機能イメージ図

ガードマンが足りない!!　④
しわ寄せが警備員に

警察庁の「平成30年度における警備業の概況」によると、2018年12月現在、国内には9714者の警備業者が存在し、55万4517人の警備員が働く。警備員100人未満の警備業者が89・3％を占める。35・5％は10人未満と零細だ。また、交通誘導を手掛ける会社は全体の70・7％に上る。

「交通誘導を行う業者の80～90％は小規模な会社。特定の建設会社を顧客として立ち上げたところが多い。その建設会社の仕事がないと経営が成り立たない経緯があった」。建設業との取引での、警備会社の力関係の弱さに関して、ある警備業者はそう話す。

東京都警備業協会が会員アンケート（18年9月）で、建設会社からのキャンセルに対する「時間的な制限」の設定についてあるかどうかを聞いたところ、84％が設定していた。しかし間題はキャンセル料の請求規定だ。一番多かったのは「当日2時間前までのキャンセルは0％請求、2時間を切った場合は50％請求、警備開始時間後は100％請求」というもの。旅行会社など他産業と比べ、極めて甘い設定だった。

そのしわ寄せを受けるのは現場で働く警備員だ。現場の中止に際し、警備員への給与の支給を行っているか」という質問に対して、「全額支給」は17・3％にとどまった。18・4％が「無支給」で、「一部支給」が59・2％を占めた。一部支給の具体的な規定で一番多かったのは「50％支給」。一律2000円や5000円と、金額を決めている会社もあった。

現場のキャンセルで多くの警備員は日当が減る（写真は記事と無関係です）

キャンセルによって警備員の収入が減る。度重なれば生活設計が成り立たず、離職にもつながるだろう。

警備業の取引上の立場の弱さと警備員へのしわ寄せは他にもある。

新規入場者教育を含む現場開始前の集合に伴う料金（賃金）について、「建設会社への請求と、警備員への支給をともにしている」会社は21・4％にとどまり、「請求・支給ともにしていない」会社が56・1％を占めた。

建設業と警備業の力関係と、警備員への待遇面でのしわ寄せが警備員の人材不足に拍車を掛ける。

イベント情報

■建設キャリアアップシステム講習会　2月17日／大阪建設業協会
内容は建設キャリアアップシステムの現状と推移状況、建設特定技能外国人の受け入れについて。午後1時30分開始。会場はエル・おおさか（大阪市中央区）。受講料無料。問い合わせ先は業務課　電話06（6941）4821。

■建設業界の新技術・工夫・改善事例講習会　2月18日／大阪建設業協会
会員6社が生産性向上事例を発表する他、東京大学大学院i-Constructionシステム学寄付講座の金邦釗特任准教授の特別講演がある。午後1時15分開始。会場は國民会館（大阪市中央区）。同協会会員の土木技術者・工事施工担当者や公共工事発注機関などが対象。受講料無料。問い合わせ先は企画調整課　電話06（6941）4821。

■2020年安全大会　2月21日／長谷工コーポレーション、長谷工コーポレーション関西安全協力会
労働災害撲滅に向け安全大会を開催。会場はホルニューオータニ大阪（大阪市中央区）。午後1時30分開会。

■フォレストフェア2020冬　2月21日／凸版印刷
建装材分野の開発製品や自社で分析したトレンド情報を紹介する法人向けの展示会。「世界のコントラストとまちづくりの今」をテーマとした講演や、製品の展示もある。午後3時開始。会場は中之島フェスティバルタワー（大阪市北区）。ウェブ上でも公開する。問い合わせ先は生活・産業事業本部環境デザイン事業部　電話03（3835）6820。

■建設事業講演会　3月4日／近畿建設協会
豊岡市の中貝宗治市長と国土交通省近畿地方整備局企画部の宮川久技術調整管理官が講演する。午後1時30分開始。会場はプリムローズ大阪（大阪市中央区）。参加費無料。定員は300人。申込締切は2月28日。問い合わせ先は事業管理部・阿部、杉原　電話06（6941）5988。

■建築物防災講演会　3月5日／大阪建築防災センター
2019年度末の建築物防災週間関連行事として開催。講演テーマは「台風による都市型暴風災害のリスクとその備え」。講師は京都大学防災研究所の竹見哲也准教授。午後1時30分開始。会場は建設交流館8階グリーンホール（大阪市西区）。聴講無料。問い合わせ先は同センター　電話06（6694）0190。